

「この本、よかった！」(135)
『えんとつ町のペル』
作・絵：西野 亮廣
(株式会社 幻冬舎)

みなさんにも
おすすめしたい「くまどく本」、
今月は、第一小学校からです。

安井 咲良(6年)

私はこの絵本を何度も何度も読んで
きました。そして今でも、読んだあとの
爽快感は、初めて読んだ時と変わりませ
ん。私は大人になってもこの本を読
み続けたいです。

安井 桜(姉)

初めて本屋でこの本に出逢った時、表
紙絵の美しさに惹き込まれてしまいま
した。どんな気分の時でも、きっとまた
いいことがあると思えるお話です。ぜひ
読んで、明日も笑顔で過ごしてください。



(教育総務課
社会教育グループ)

コミュニティ・スクール

熊野第一小学校

第一小学校では、CS(コミュニティ・スク
ール)の取り組みを積極的に進めています。

CSとは、学校と地域の人々が力を合
わせて一体となりながら「特色ある学校
づくり」を進めていくことができる仕
組みです。

第一小学校では、今年度から児童の
委員会活動の一環として、CS委員
会を立ち上げました。

CS委員会では、5・6年生の委員
会児童が中心となりながら、地域の
人々とのつながりを生み出す企画を
行っています。7月には、地域の紙
飛行機名人である久保隅さんに来
ていただき『天まで届け！紙飛行機
教室』を開催しました。事前の打
ち合わせから体育館の会場準備、
参加児童のサポートまで、委員
会児童が計画や運営を行いました。

今後も、さまざまな形を模索しな
がら、学校と地域が手を取り合っ
て、子どもたちも躍動するCSを
目指していきたいと思えます。



▲「天まで届け！紙飛行機教室」の様子
(教育総務課)

燃えるあつい運動会

熊野第三小学校

今年度の第三小学校の運動会のス
ローガンは「燃えるあつい運動会に
しよう!!」でした。

まだまだ暑さの厳しかった9月中
旬から練習が始まりました。「こんな
競技・演技をしたい!!」という目
標を持ち、上学年が下学年をリ
ードし、下学年は上学年を手本に
して、熱心に練習に取り組みまし
た。練習の時から、昨年以上に
子どもたちの「やりたい!!」があ
ふれていました。また、今年
は応援合戦やPTA競技を
得点に入れるなど、児童・保
護者・教職員の「やりたい!!」
が実現しました。

6年生の鼓笛隊の楽器や3・4
年生の筆踊りの衣装には、令和
5年度の地域テーマ募金を活用
させていただきました。たくさん
の募金をありがとうございました。

参観して下さったみなさん、「燃
えるあつい運動会」になっていた
でしょうか。

次は、11月16日(土)の学習
発表参観日に向けて取り組みを
進めていきます。ぜひお越しく
ださい。



▲鼓笛隊の練習をする6年生の様子
(教育総務課)

『第92回全国書画展覧会』の作品が展示されます

92回目となる今年の全国書画展覧
会には、全国の小中学校・書道塾・
海外の日本人学校から、書画作品
約10万5千点の応募がありました。そ
の中の優秀作品(特別賞・筆都大
賞)約1,000点を展示し、特別賞
受賞者の表彰を行います。

また、町内の子どもたちの書作品
はすべて展示しています。ぜひご
覧ください。

時11月23日(土・祝)～25日(月) 9:00～17:00

所町民会館

【表彰式】

時11月24日(日) 10:00～11:30

所町民会館ふでりんホール



☎全国書画展覧会事務局
☎854-5555
(教育総務課社会教育グループ)

第48回 体育祭

熊野高等学校

この地に (342)

9月28日(土)、体育祭を開催しま
した。2学期に入ってから体育の
授業で取り組んできた各学年の
集団演技に加え、昨年度に引き
続き『体育祭ウィーク』には、
各団体種目の練習にも力を入
れてきました。

当日は、好天に恵まれ、家族限
定でしたが、大勢の観客が見守
る中、学年対抗で得点を競いま
しました。1年生女子による伝
統の「筆踊り」、1年生男子や
2年生男女による息の合った
集団演技など、大変見ごたえ
のあるパフォーマンスに観客
は大きな拍手を送りました。競
技では、個人種目・団体種目
ともに3年生が圧倒的強さを
見せていました。最後に、3
年生がカラフルなクラスT
シャツを着てフォークダンス
を踊り、体育祭を締めくくり
ました。

結果は、3年生が優勝、唯一
男子綱引きで3年生に勝利した
2年生が2位になりました。1
年生はこの経験を次年度に活
かしてがんばってくれること
を期待します。



▲2年生による集団演技の様子
☎熊野高等学校 ☎854-4155

人権とわたし

「ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト」
受賞作品を紹介！(Part.2)

性別に関する固定概念『ジェン
ダーバイアス』の解消に向けた
県主催の取り組みとして、エ
ソール広島と連携して昨年度
開催された「ちいともやもや
ジェンダー川柳コンテスト」
の受賞作品を紹介します。

「手伝うよ」
じゃのおて一緒に
やりますじゃ
家事育児は当業者
【優秀賞】

作者のコメント

わが家は夫も家事に協力的
ですが、料理だけは「手伝
う」と言います。洗濯など
主体的にやってほしい家事
を夫に任せていて、お互い
様な部分もありますが…。も
やもやを広島弁で表現して
みました。(30代女性)



◀エソール広島ホームページ

出典：もやもや解消読本

(広島県環境県民局わたしらしき方応援課発行)
(生活環境課)